

Petpage

PETNEWS

‘21春新製品、海外動向



3

2021.2/

DOHBUTSU KIKAKUSHA

トラス株式会社
無料オンラインセミナー
「歯磨きが苦手な猫のための歯磨き」を開講

ペットのしつけ・サプリメントと歯磨き用品のトラス株式会社（所在地 神奈川県綾瀬市、赤津 穂彦代表取締役社長）は、2月18日 19:00~20:00の1時間、口腔ケアをおこない愛猫の健康維持につながる歯磨きの仕方を学べる「歯磨きが苦手な猫のための歯磨き」無料オンラインセミナーを開講した。講師は同社赤津社長が担当した。

3歳以上のペットの約8割が歯周病予備軍と言われており、猫の死因として常に上位にあがる病気の原因は、歯周病だと言われている。猫は虫歯にならないと言われることが多く「歯磨きをしないで良い」と間違った認識が広まり、また歯を磨こうとしてもじっとしてられず暴れてしまうという理由から、犬と比べても歯磨きを行わない飼い主が多い。

しかし、歯を磨くということは、口の臭いを消すことではなく、歯を磨くことで歯垢を落とすことが目的で、猫も人間同様、歯垢が溜まると歯肉が腫れ、歯周病を引き起こし、結果的に他の大病を招く実例が多く見られ、問題となっている。

そこで、今回のセミナーは、歯磨きが苦手・嫌がる猫が、歯ブラシに慣れるようになるまでのコツの紹介と、歯ブラシを使えない方向けの最低限の口腔ケアを紹介するというもの。

<セミナー概要>



- ・猫の歯の現状や構造について…3歳以上のペットの約80%が歯周病予備軍ともいわれ、犬に比べて猫はさらに歯磨きを習慣にしている人が少ないという。しかし実際は、猫も人間同様、歯垢が溜まると歯肉が腫れて歯周病を引き起こし、結果的に大きな病気につながることもある。
- ・愛猫を守る口腔ケアの重要性説明…人と猫の口の違いは、人間が酸性に対して猫がアルカリ性。歯垢から歯石になる早さは人間が20日前後



であることに、猫の場合は48時間から1週間の間だという。

- ・歯磨きが苦手な猫に歯ブラシを使えるようになるまでのコツを紹介…レベル1「歯磨きを何もしていない」場合から、レベル4「歯ブラシを使って歯を磨くことができる」場合まで、段階ごと（※）のコツを紹介。
- ・歯ブラシを使わない歯磨きについて
- ・質疑応答

※レベル1「歯みがきを何もしていない」場合は、まず猫の好きな姿勢で抱っこしながら口まわりを触れるようにする。このとき、真正面から対面して口を触ろうとすると不安を感じやすいため、後ろから抱きかかえる姿勢がおすすめ。

※レベル2「口は触れるが指が中に入らない」場合は、猫の好きなエサの汁などを指につけなめさせ、口の中に指を入れられることに徐々に抵抗感をなくしていく。いきなり歯磨きジェルを使うより、普段から慣れている好物のほうが抵抗感は少ない。慣れてきたら歯磨きジェルと同様に触ってみる。ただし、触りすぎて嫌がらせないように。

※レベル3「口に指を入れられる」のであれば、犬歯を触ってあたり、徐々に少し奥に指を入れてみる。慣れてきたら指サックや歯みがきシートなどで優しく磨いてあげる。人間の歯磨きの感覚でこすると猫には強すぎて、エナメル質を傷つける場合もあるので注意。

※レベル4「歯ブラシを使いたい人」は、ペット用歯ブラシにジェルなどをつけて磨いてみる。最初は歯の外側から始め、慣れてきたら内側も磨く。柔らかい毛で、そのペットに合ったサイズのものを使うこと。また、最初は何度の角度でも磨きやすい360度、毛になっているタイプのものでおすすめ。大切なのは、歯ブラシが怖くないと認識させること。

以下はセミナーで紹介された猫の歯みがきの注意点とサポート。

- 歯みがきの注意点
- ・歯磨きに慣れさせる際に猫を嫌がらせないこと。
- ・抑え込んだり、最初から何分も磨こうとせず、始め